

ノリ海況速報 第1報 (2024-1)

令和6年10月1日発行
 千葉県水産総合研究センター
 東京湾漁業研究所
 千葉県農林水産技術会議

資料 ノリ海況調査 (ふさなみ) 9/17 内房, 9/18 内湾

【 水温・塩分の状況 】

- 表層水温は内湾北部が29.1~29.2°C, 盤洲周辺が29.0~29.5°C, 富津周辺が27.2~28.1°Cでした。表層塩分は内湾北部が20.9~22.6, 盤洲周辺が24.5~27.3, 富津周辺が28.8~33.1でした(図1)。
- 内湾では表層と底層の水温差が1~9°C程度あり, 成層が維持されていました。今後の表層水温は, 成層が崩れて鉛直混合が進むと急に低下します。
- 沖合水(高水温, 高塩分)のノリ漁場への波及はみられませんでした(図1, 2)。

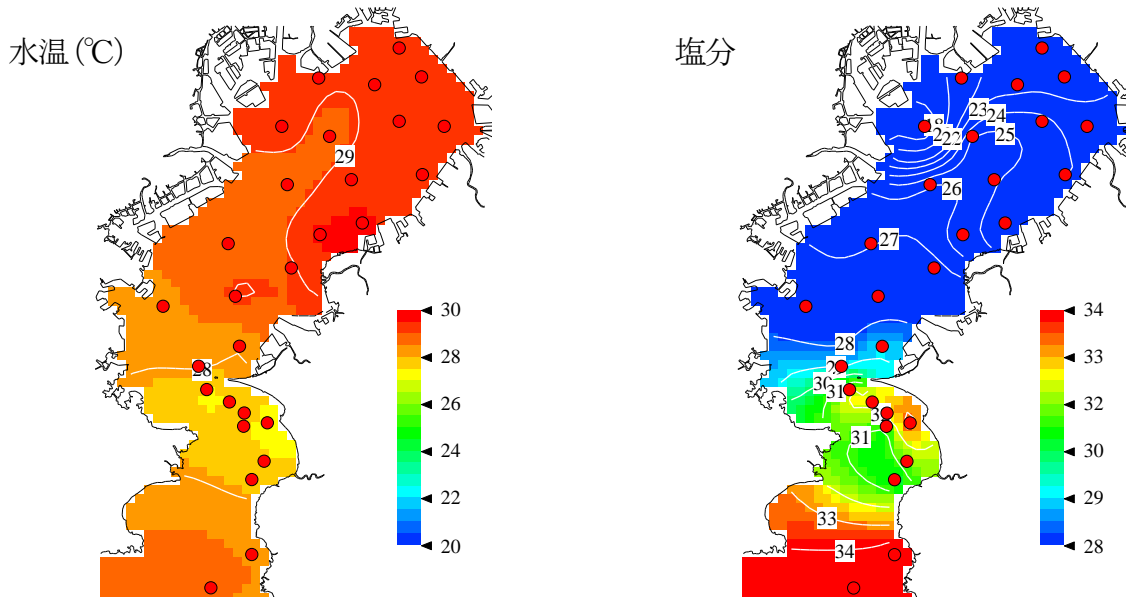


図1 表層の水温・塩分

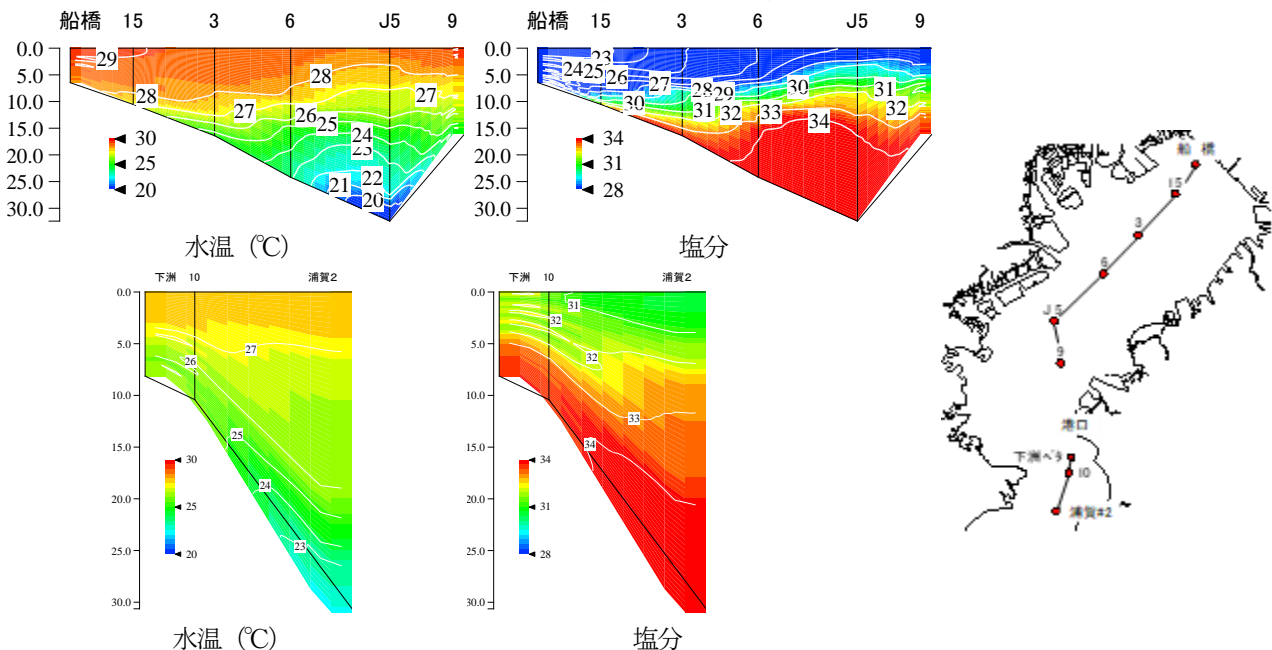


図2 縦断面の水温・塩分の鉛直分布 (上: 内湾, 下: 内房北部, 右: 調査ライン)

【 赤潮・栄養塩の状況 】

- 赤潮は確認されず、内湾におけるプランクトンの優占種は、渦鞭毛藻スクリップシエラ属、珪藻レプトシリンドラス属などでした。透明度は1.5～5.3 mでした。
- 栄養塩は窒素が内湾北部で268～583 μg/L、盤洲周辺が58～100 μg/L、富津周辺が31～175 μg/L、リンが内湾北部で17～48 μg/L、盤洲周辺が9～21 μg/L、富津周辺が5 μg/L以下～18 μg/Lでした(図3)。
- ノリ漁場の栄養塩は、盤洲周辺及び富津周辺の一部で窒素及びリンがノリの色調の保持や健全な生育に必要なレベルを下回っていました。

東京湾の赤潮の基準：酸素飽和度 150%以上，透明度 1.5 m 以下，pH8.5 以上		
高色調のノリの生産に必要なレベル：	窒素 110 μg/L	リン 8 μg/L
ノリの色調の保持や健全な生育に必要なレベル：	窒素 90 μg/L	リン 5 μg/L

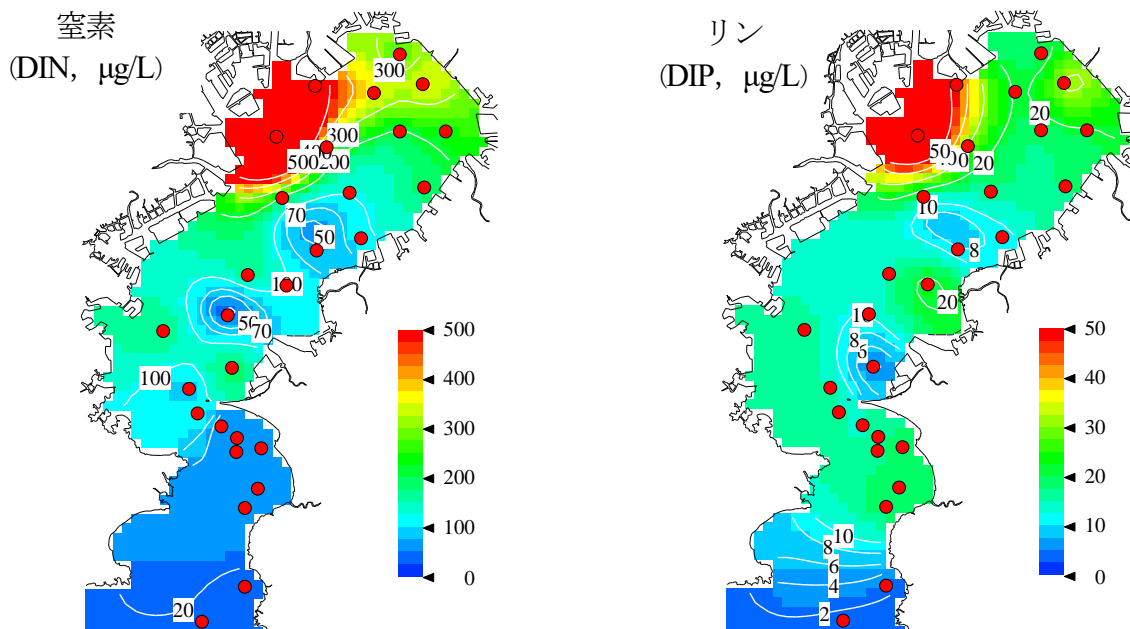


図3 表層の栄養塩濃度の分布

ノリ養殖場水温予報のお知らせ

今年も、各ノリ養殖場（三番瀬、盤洲北部、盤洲南部、富津岬北、富津岬南）について、5日先まで表層水温を予報します。千葉県水産総合研究センターのHP、もしくは右のQRコードからご覧ください。



東京湾漁業・環境情報提供システム

最新の東京湾の環境情報、赤潮発生目安（人工衛星画像）、各地の水温変化（モニタリングポスト）、沖合水の侵入の目安（潮位）、水温変化の目安（表層水温、底層水温分布）などを表示しています。千葉県水産総合研究センターのHP、もしくは右のQRコードからご覧ください。



パソコン：http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbsuishi/cbtk/04tk-yohou/main_frame.html

携帯：http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbsuishi/cbtk/04tk-yohou/mobile_forecast.html